

2021年11月期 決算説明資料



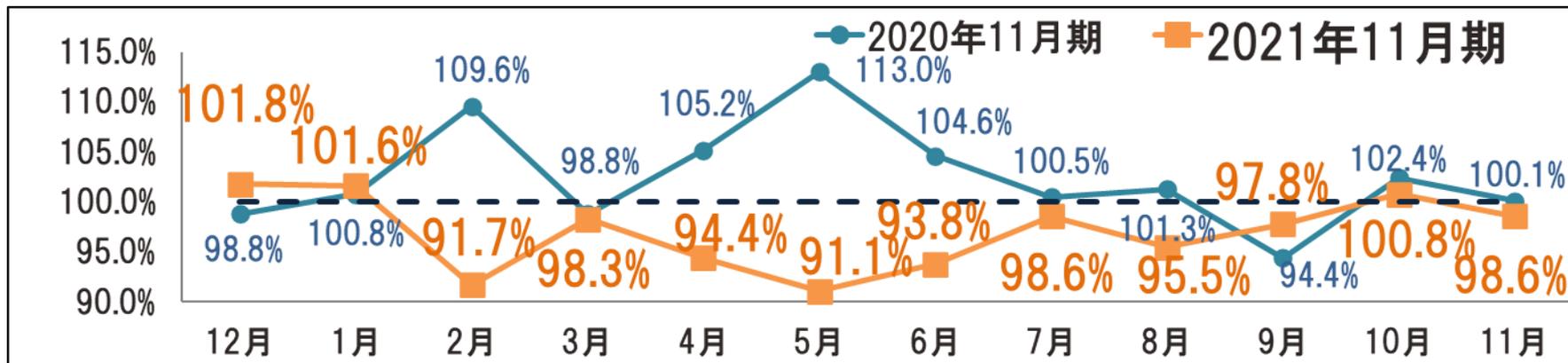
2022年1月14日

Can★Do

(証券コード:2698)

<https://www.cando-web.co.jp>

	プラス与件	マイナス与件
小売業界	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急事態宣言等の解除 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響により、好調だった衛生関連用品・巣ごもり消費の伸び悩み ・物流費用及び原材料の高騰 ・経営課題の複雑化(環境配慮意識・先進テクノロジーの発達)
100円ショップ業界	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急事態宣言等解除に伴う人流増加 ・ネット販売業者の参入が困難 ・地域や商業施設からの期待値の上昇 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス対応の衛生用品、消耗品の特需の鎮静化 ・他業界における低価格競争
当社	<ul style="list-style-type: none"> ・他価格帯商品の取り扱い ・Instagramを中心としたSNSにおける認知度向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・母店退店が多い



2021年 11月期 (累計： 97.1%)	1Q (12～2月)	緊急事態宣言発出に伴い巣ごもり対応商品が好調 外出自粛・商業施設の営業時間短縮による客数減 前年新型コロナウイルス国内感染者発生による特需発生の反動
	2Q (3～5月)	前年の緊急事態宣言発出に伴う特需発生の反動 今年の緊急事態宣言発出に伴う外出自粛・商業施設の休業・営業時間短縮による客数減
	3Q (6～8月)	前年5月緊急事態宣言解除及び特需の反動 東京五輪に伴う人流減少
	4Q (9～11月)	緊急事態宣言等解除に伴う人流の戻り及び消費における持ち直しの動きが弱い

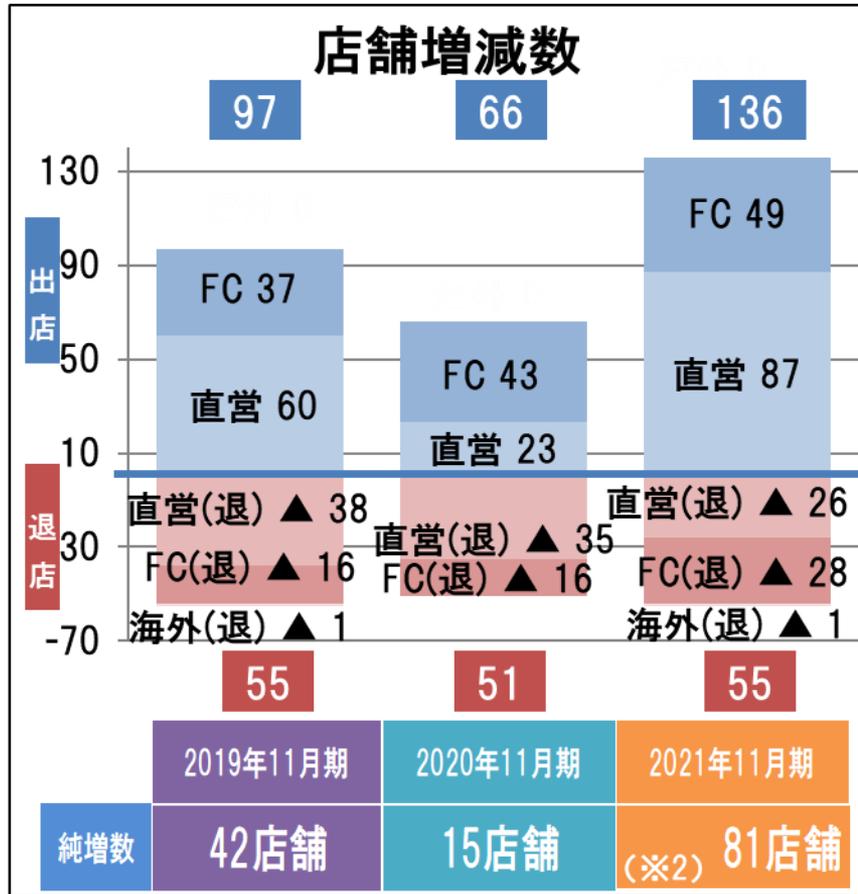
(単位:百万円、%)

	2019年11月期		2020年11月期		2021年11月期		前年 同期比	業績予想 対比
	金額	率	金額	率	金額	率		
売上高	71,297	100.0	73,034	100.0	73,130	100.0	100.1	99.4
売上総利益	27,550	38.6	28,002	38.3	27,987	38.3	99.9	—
営業利益	1,193	1.7	1,558	2.1	964	1.3	61.9	85.5
経常利益	1,300	1.8	1,643	2.3	1,034	1.4	62.9	86.0
親会社株主に帰属 する当期純利益	325	0.5	440	0.6	194	0.3	44.3	64.1
一株当たり 当期純利益	20.45 円		27.65 円		12.21 円		44.2	—
会計期末 店舗数	1,050 店舗		1,065 店舗		1,180 店舗		(※) 115店舗	—

(※)2021年11月期末店舗数1,180店舗—2020年11月期末店舗数1,065店舗

2021年11月期の業績予想と実績の差異の理由につきましては、前年の新型コロナウイルスの影響による特需の反動が大きかったうえに、前回予想に反して、2021年11月第4四半期における緊急事態宣言等の解除による消費における持ち直しが弱含みであったことが重なったことによる売上高の不足によるものです。

出退店数の状況



出店・リニューアル

- 新規出店: 136店舗 (計画: 80/通期)
直営87店舗(委託店含む(※1))、FC49店舗
- リニューアル: 74店舗

退店

- 55店舗 (計画: 55/通期)
直営26店舗、FC28店舗、海外FC1店舗

【増減】直営+61店舗、FC+21店舗、海外FC▲1店舗

1,180店舗

(※1) 2021年11月期2Qより売上高の拡大と収益体質の強化を目的とした、委託店舗の出店をスタートさせました。

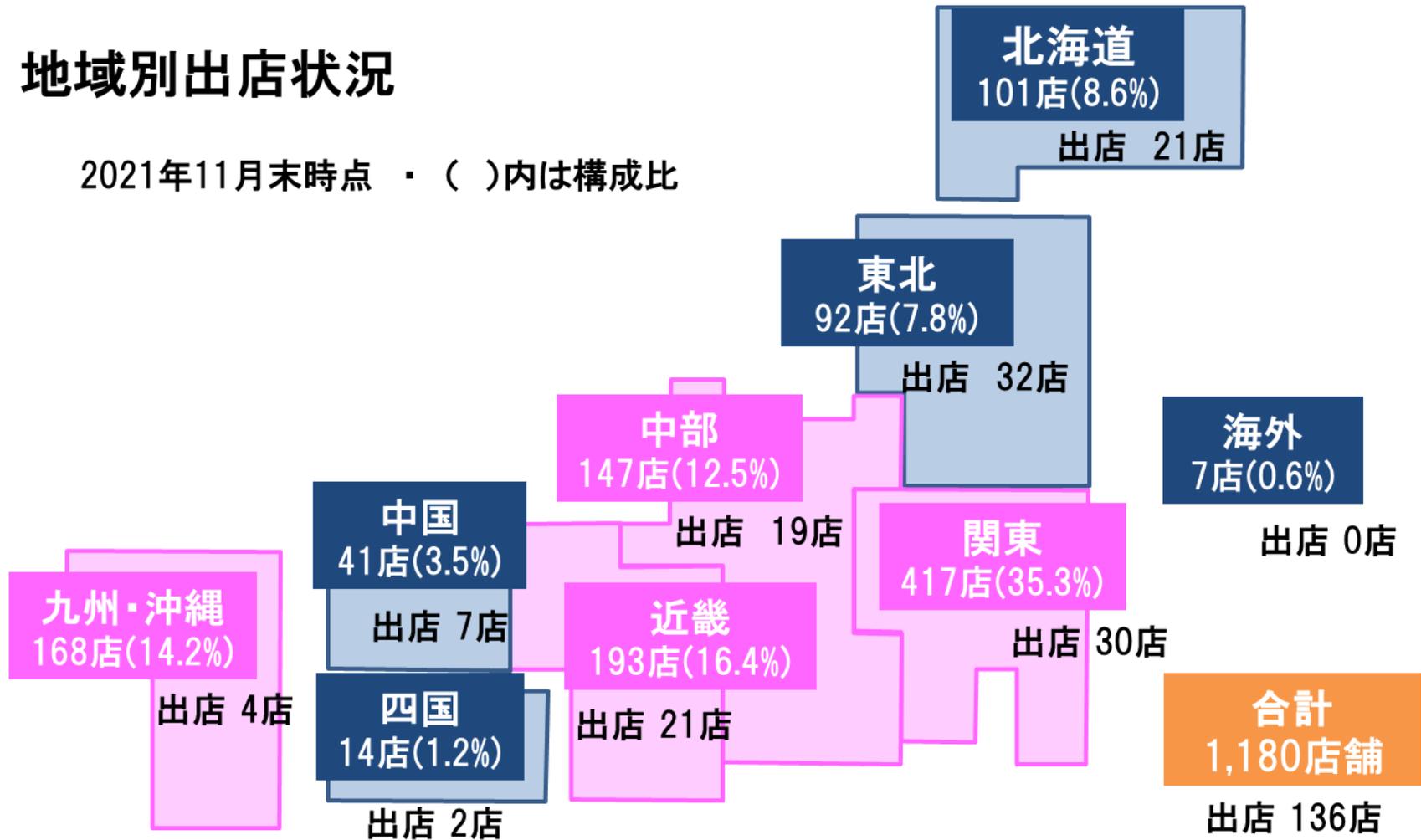
(※2) 2021年11月期末店舗数1,180店舗ー2020年11月期末店舗数1,065店舗ーキャンドウセレクト34店舗
売場規模が小さかった為、開示店舗数に含めていなかった、キャンドウセレクト計34店を2021年3月末より、
現在店舗数に含めております。キャンドウセレクトとは、日用消耗品を中心に厳選した品揃えの店舗になります。

イオンモール桑名店 (愛知県・2021年10月21日オープン・150坪)

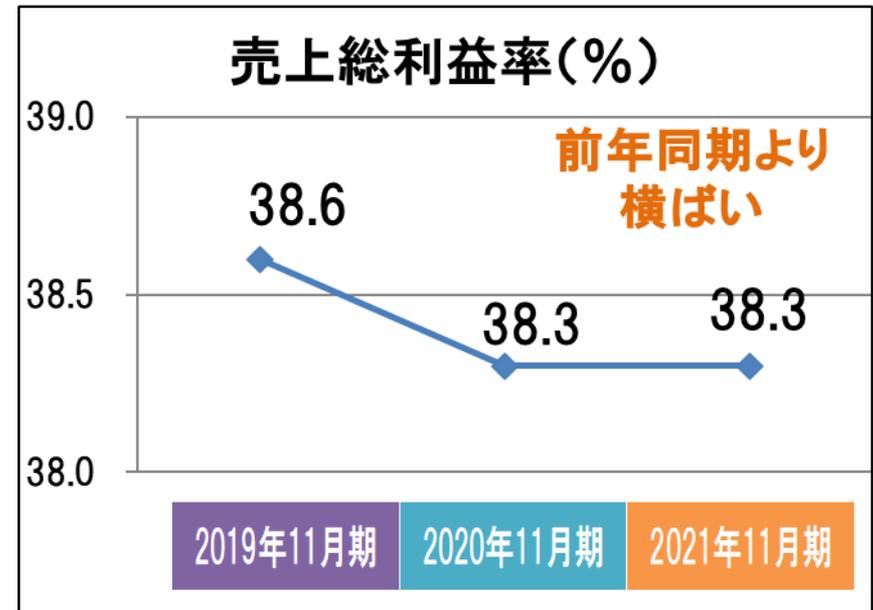
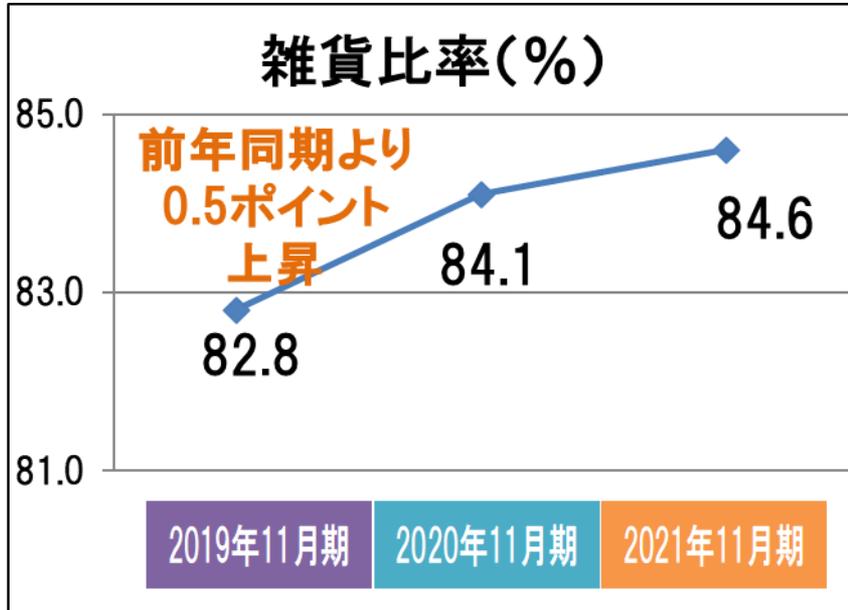


地域別出店状況

2021年11月末時点 ・ ()内は構成比



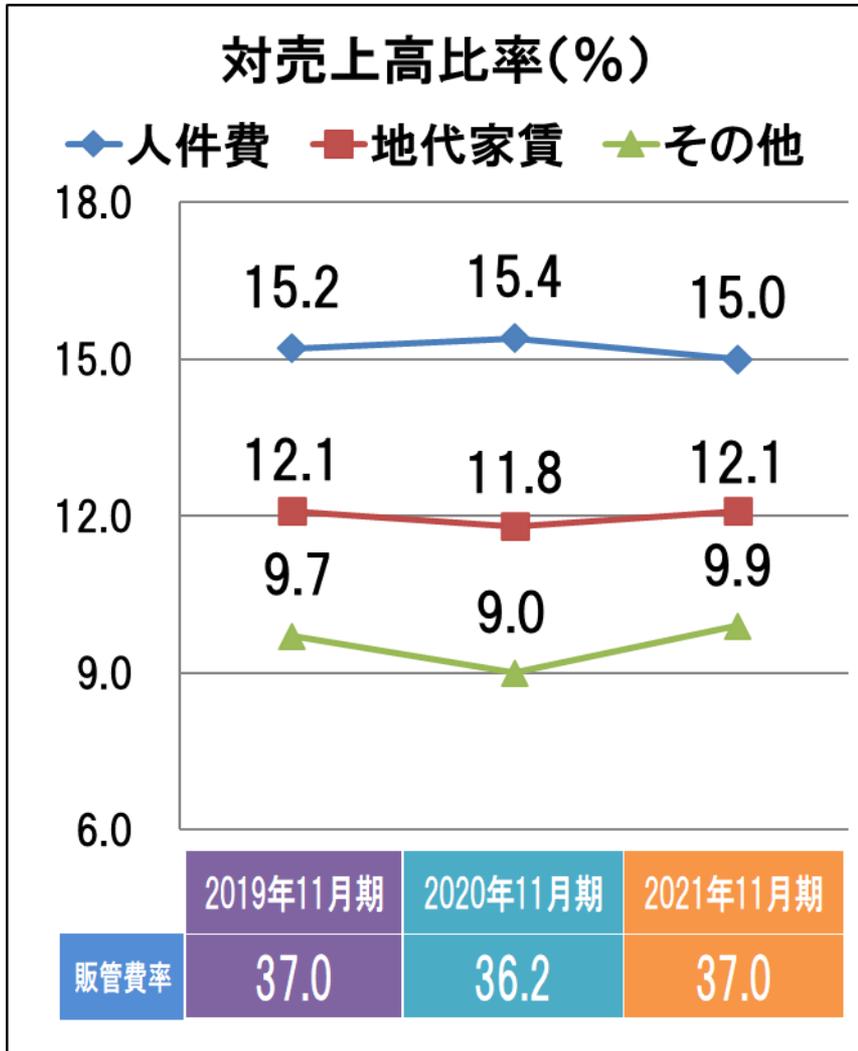
売上総利益の内訳



売上総利益率の下降

- 他価格帯商品の売上比率増加
- 卸売上比率の増加

販管費の内訳



抑制要因

- 人件費：退職給付費用の減少、
外注人件費(人材派遣)の抑制
- その他費用：修繕費、水道光熱費

増加要因

- 地代家賃：前年の賃料減免措置等により
地代家賃比率は増加
- その他費用：出店費、システム再構築関連費用
の増加、クレジット等キャッシュレス手数料
増加、消耗品、通信費の増加

販管費率+0.8ポイント

設備投資の状況

基幹システムをはじめとしたシステムの再構築及び
キャッシュレス対応・自動釣銭機導入を継続しつつ
計画を上回る委託店舗出店を推進しました

(単位:百万円)

	2020年11月期	2021年11月期	増減
設備投資額	1,518	1,922	403
減価償却費	1,129	1,210	80

◆主な設備投資内訳

(単位:百万円)

	2020年11月期	2021年11月期	増減
直営新規出店・ 既存店リニューアル等	1,303	(※) 1,495	192
情報システム関連投資	215	426	211
合計	1,518	1,922	403

(※)1案件あたりの設備投資金額抑制施策効果も含む

連結貸借対照表の状況

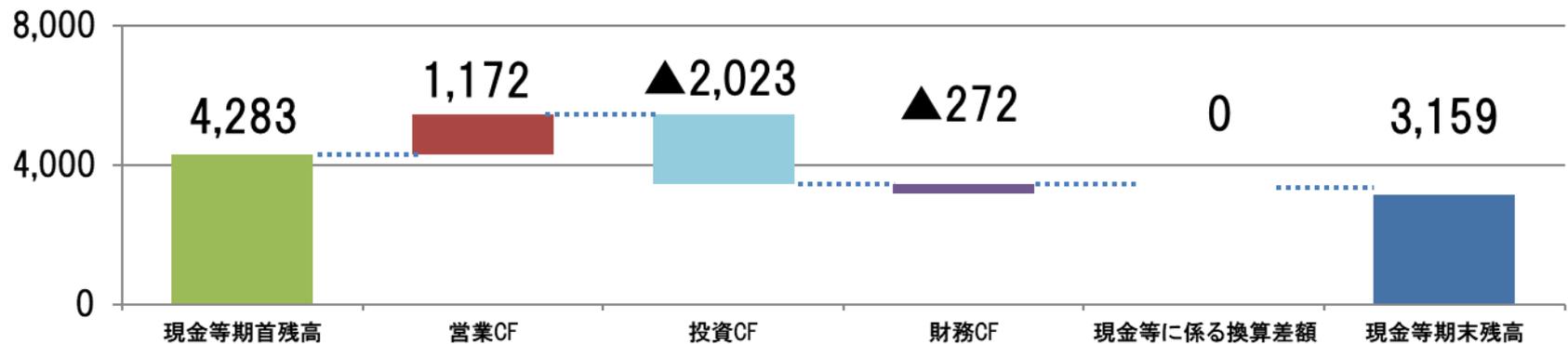
(単位:百万円)							
	2020年 11月期	2021年 11月期	前年 増減額	2020年 11月期	2021年 11月期	前年 増減額	
流動資産合計	13,906	13,270	▲ 635	流動負債合計	11,324	10,816	▲ 507
現金及び預金	4,283	3,159	① ▲ 1,123	仕入債務	8,701	8,984	282
売上債権・未収入金	2,724	2,944	220	その他流動負債	2,622	1,832	③ ▲ 790
商品	6,256	6,525	② 268	固定負債合計	4,479	4,712	232
その他流動資産	641	641	0	退職給付に係る負債	2,097	2,326	228
有形固定資産合計	6,517	6,880	362	資産除去債務	1,762	1,801	38
建物及び構築物	5,294	5,590	295	負ののれん	247	209	▲ 38
その他有形固定資産	1,223	1,290	66	その他固定負債	372	375	2
無形固定資産合計	691	545	▲ 145	負債合計	15,804	15,529	▲ 275
投資その他の資産合計	7,264	7,347	83	資本金	3,028	3,028	0
敷金及び保証金	5,471	5,488	16	資本剰余金	3,068	3,082	13
その他投資その他の資産	1,792	1,859	66	利益剰余金	7,682	7,606	▲ 76
固定資産合計	14,473	14,773	300	自己株式	▲ 1,210	▲ 1,155	55
資産合計	28,379	28,044	▲ 335	その他の包括利益累計額	▲ 41	▲ 47	▲ 6
				新株予約権	46	0	▲ 46
				純資産合計	12,575	12,515	▲ 60
				負債純資産合計	28,379	28,044	▲ 335

※対前年増減額が大きな項目について、その主なものを以下に記載

- ① 現金及び預金の減少1,123百万円
- ② 商品の増加268百万円
- ③ 未払法人税等の減少346百万円、未払消費税の減少336百万円

連結キャッシュ・フローの状況

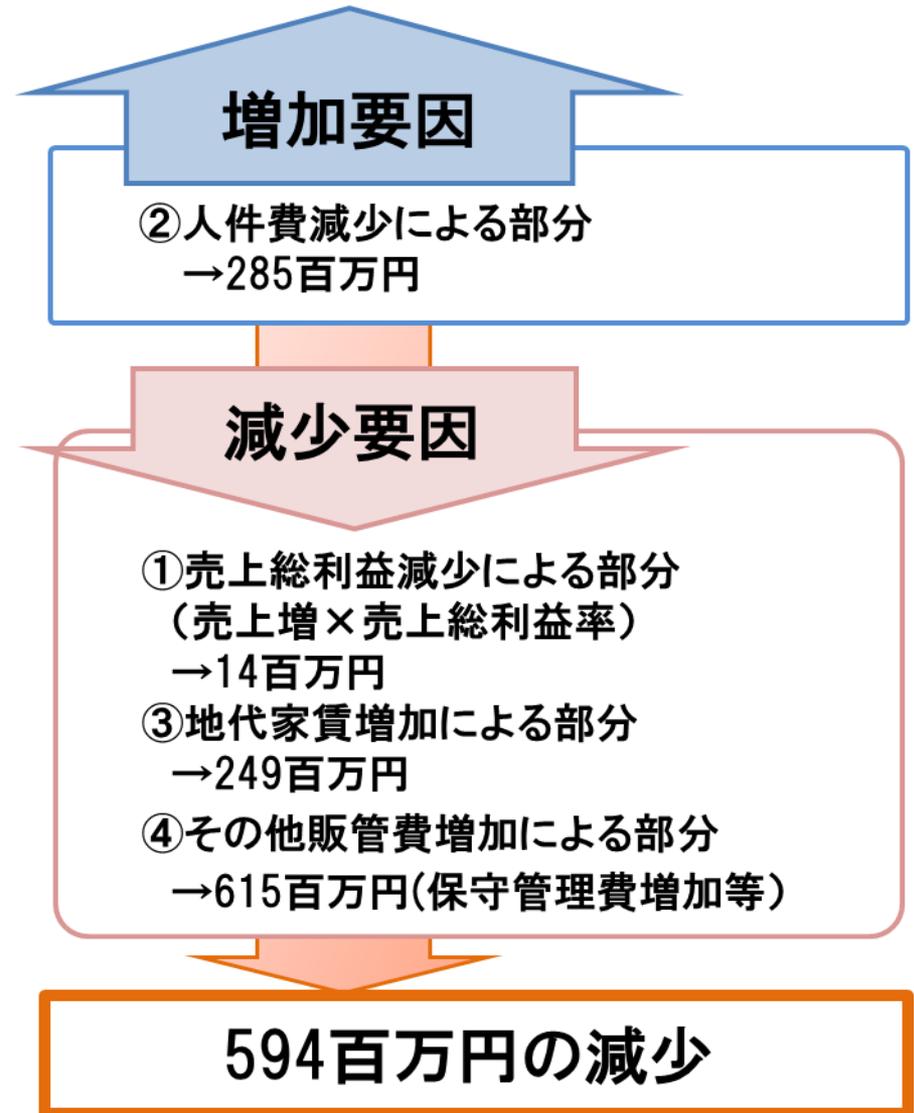
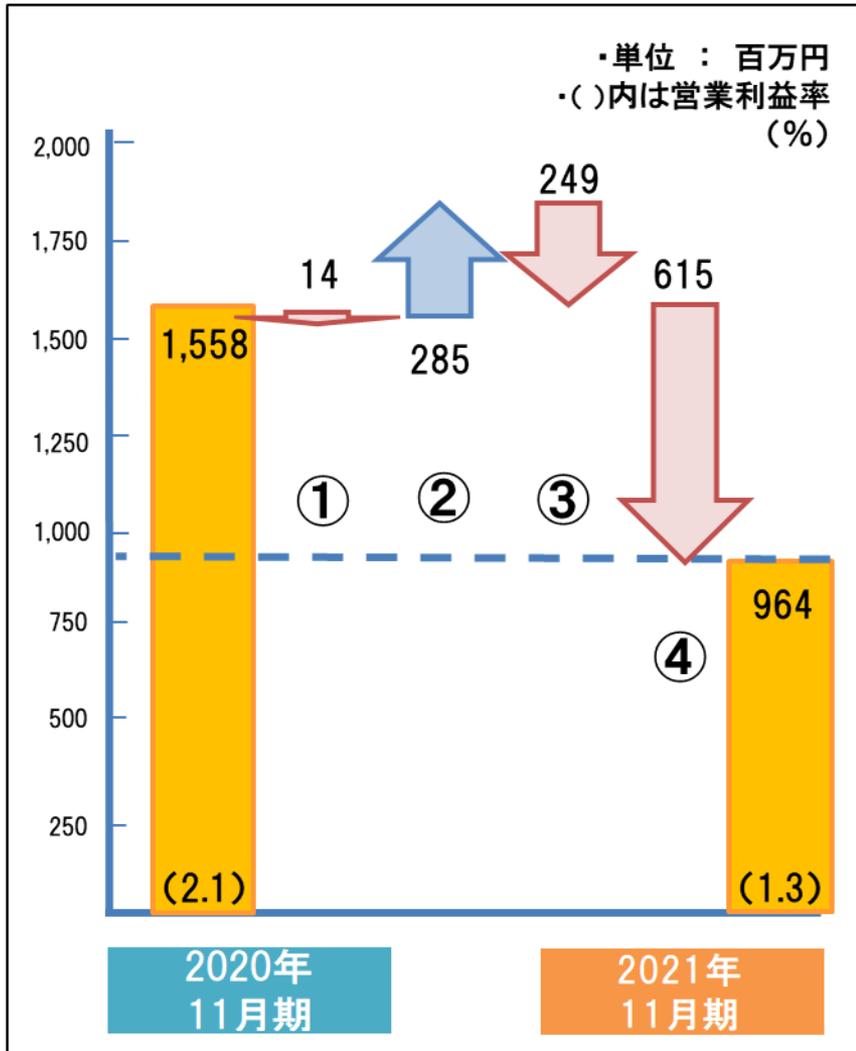
(単位:百万円)	2020年11月期	2021年11月期	増減
営業キャッシュ・フロー	2,064	1,172	▲ 891
投資キャッシュ・フロー	▲ 1,699	▲ 2,023	▲ 324
財務キャッシュ・フロー	▲ 271	▲ 272	▲ 1
現金・現金同等物換算差額	▲ 0	0	0
現金・現金同等物期首残高	4,190	4,283	93
現金・現金同等物期末残高	4,283	3,159	▲ 1,123



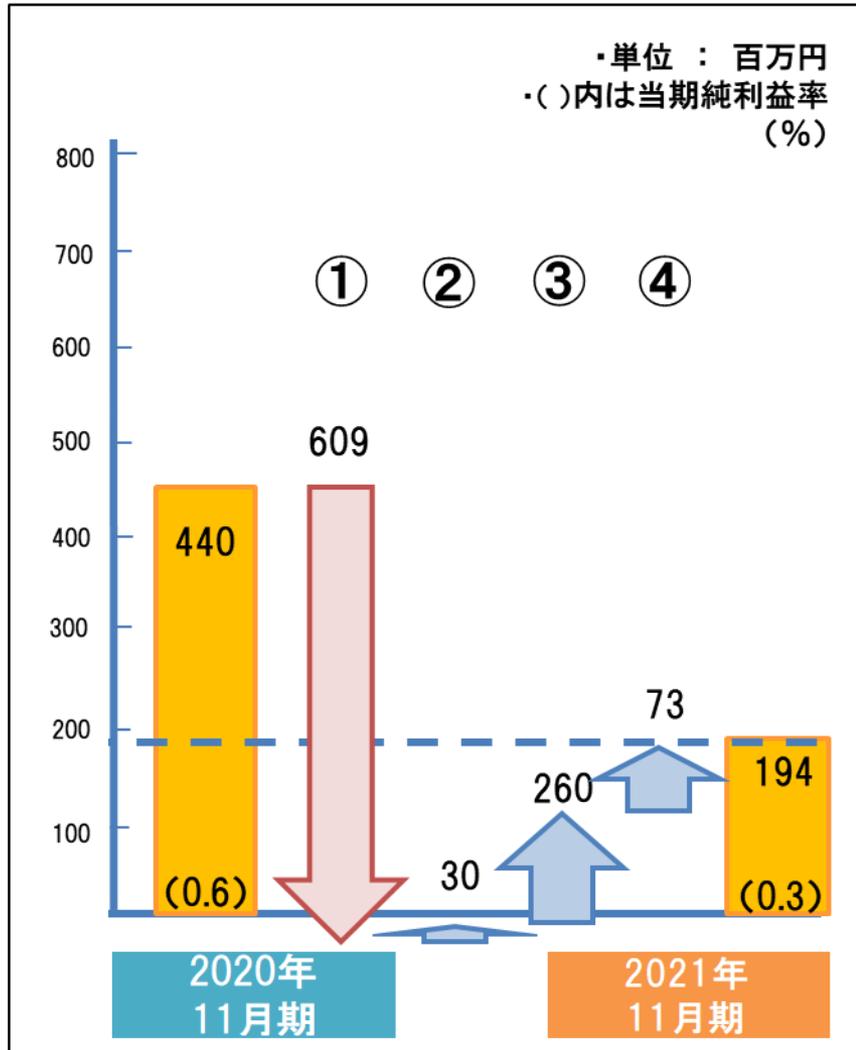
●営業キャッシュ・フローの内訳●

税金等調整前当期純利益636百万円に対して、
 加算項目は減価償却費1,210百万円、仕入債務の増加282百万円
 減算項目は法人税等の支払857百万円、たな卸資産の増加268百万円、未収入金の増加266百万円等

営業利益 前年差異分析



当期純利益 前年差異分析



増加要因

- ② 特別利益増加による部分
→30百万円
- ③ 特別損失減少による部分
→260百万円
- ④ 法人税等減少による部分
→73百万円

減少要因

- ① 経常利益減少による部分
→609百万円

245百万円の減少

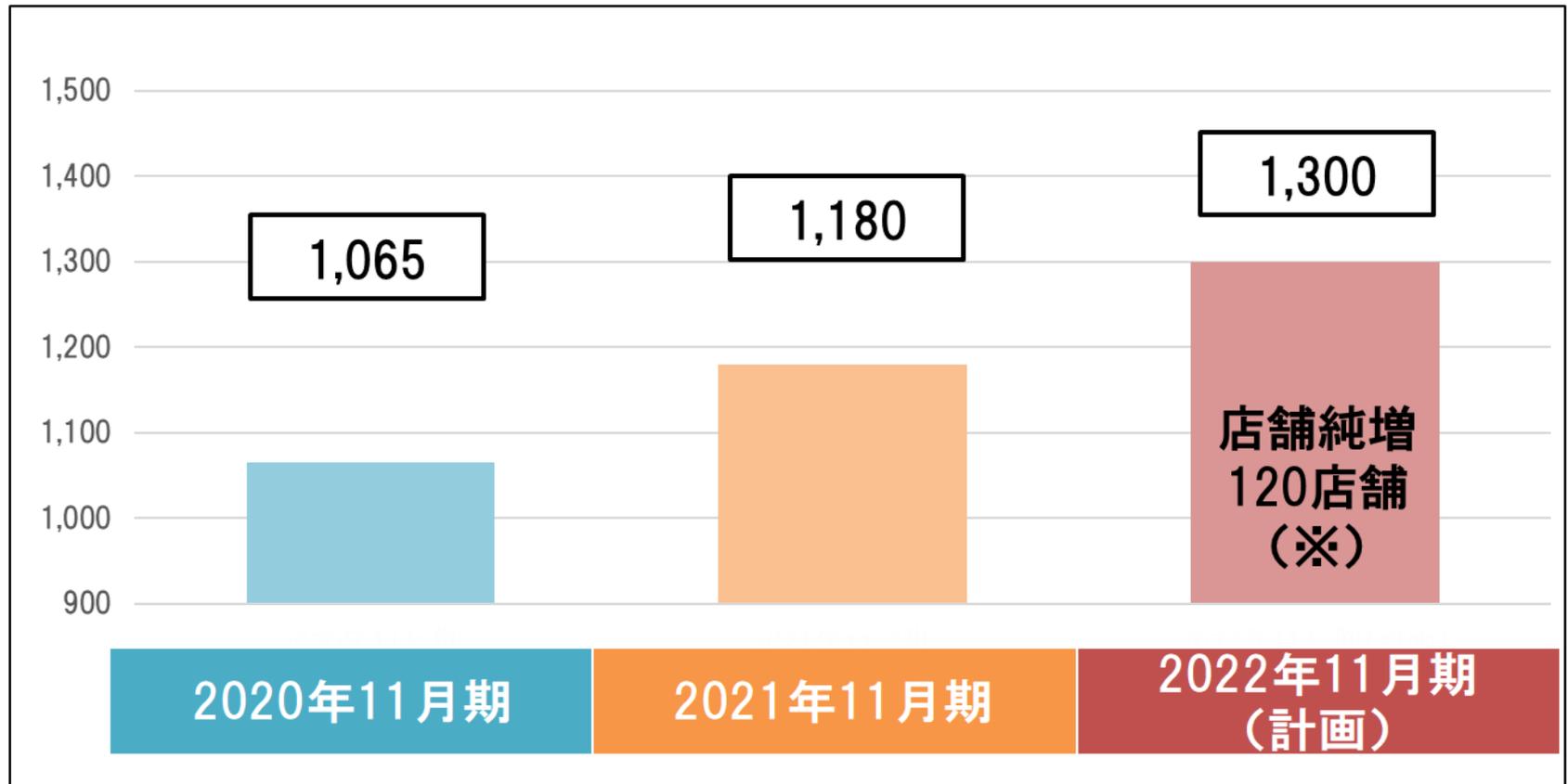
2022年11月期

業績予想

(単位:百万円、%)

	2020年11月期 実績		2021年11月期 実績		2022年11月期 業績予想		前年 同期比
	金額	率	金額	率	金額	率	
売上高	73,034	100.0	73,130	100.0	76,700	100.0	104.9
営業利益	1,558	2.1	964	1.3	1,060	1.4	109.9
経常利益	1,643	2.3	1,034	1.4	1,140	1.5	110.2
親会社株主に帰属 する当期純利益	440	0.6	194	0.3	210	0.3	108.2

店舗数計画(案)



(※)出店：185店舗、退店：65店舗

イオン株式会社による
当社株式に対する公開買付けについて

イオン株式会社による、当社株式に対する公開買付けが完了しました。

1. 親会社及びその他の関係会社の異動について

イオン株式会社が8,167,444株を所有し、議決権所有割合は51.16%となり、大株主順位第1位となります。

2022年1月5日に、イオン株式会社は当社のその他の関係会社から親会社となりました。

2. 上場の維持について

本公開買付けは当社株式の上場廃止を企図するものではなく、当社株式は東京証券取引所市場第一部において上場を維持します。

詳細につきましては、2021年12月28日付適時開示「イオン株式会社による当社株券に対する公開買付け（第二回）の結果並びに親会社及びその他の関係会社の異動に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 新市場区分の選択申請について

2022年4月4日に移行が予定されている新市場区分について、「スタンダード市場」を選択いたしました。

主な理由は、イオン株式会社の子会社となることで、株式の流動比率及び売買代金に関する基準に安定的・継続的に充足できる状態ではなく、株主の皆さまが安心して当社株式を保有・売買できる環境を重要と判断したためです。詳細につきましては、2021年12月29日付適時開示「新市場区分におけるスタンダード市場の選択申請に関するお知らせ」をご参照ください。

【 ご注意 】

本資料に掲載されている株式会社キャンドウの現在の計画、見通し、戦略、認識、評価、想定等のうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。これらの情報は、現在入手可能な情報から株式会社キャンドウの経営者の判断に基づいて作成されております。

実際の業績は、様々な重要な要素により、業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、業績見通しのみに全面的に依拠することはお控えいただくようお願いいたします。

また、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。

投資に関する決定は、利用者ご自身の判断において行われるようお願い申し上げます。